

湊町まち歩き

みなと

まち

お問合せ先 いちき串木野総合観光案内所

T896-0052 いちき串木野市上名 3018 番地内 TEL 0996-32-5256 FAX 0996-29-3320
URL <http://ichiki-kushikino.com/> E-mail yoka-yoka-info@vivid.ocn.ne.jp

散策コース

約1時間30分

- 1 御仮屋跡 (市来庁舎) 3分
 - 2 導流堤 1分
 - 3 川口番所 1分
 - 4 菅原神社 1分
 - 5 孝子徳右衛門の墓 5分
 - 6 八坂神社 10分
 - 7 大黒様 1分
 - 8 浄泉寺 5分
 - 9 御仮屋通用門 7分
 - 10 市来神社 7分
 - 11 濱田屋伝兵衛 5分
 - 12 白石酒造 10分
- 市来庁舎

1 御仮屋跡



市来庁舎は、藩政時代(江戸時代)の役所のような仕事をしてきた御仮屋跡に建てられています。その頃は、四方に柵が設けられ楼門がありました。

2 導流堤



藩政時代、薩摩藩は県内の重要な港に24の津口番所を置きました。市来では普通「川口番所」と呼ばれ、海陸交通の要衝地として船の監視をしていたところです。当時の商港、宿場町として栄えた昔の様子が偲ばれ、石組の導流堤が残っています。

3 川口番所



4 菅原神社



学問の神様で知られている菅原神社は創建などは定かではありません。境内には、狛犬や庚申塔が残っています。

8 浄泉寺 (真宗大谷派)



虎臥石



だるま石



軍艦石

6 八坂神社



市来は古くから商売の町として知られ、地域の守り神として崇められてきました。御祭神は、スサノオノミコトとクシナダヒメ。200年前から行われている祇園祭は、毎年8月に行われています。

5 孝子徳右衛門の墓



むかし、唐人町に3人の親子が住んでいました。息子の徳右衛門は油を売って一家の生計を助け、酒好きの母の為に貧しい家計から栄養のある食事と酒を与えていました。母は大変短気な人でしたが徳右衛門は恨むことなく生涯いたわり続けました。このなみならぬ、孝行のことが第23代藩主、島津宗信に知られ米15俵の褒美をもらいました。

9 御仮屋通用門 (野田悦子宅)



野田氏の祖先が、当時唐通使(通訳)として仕えていたことから家来の使う通用門が払い下げられたものが現在も残っています。

10 市来神社



御祭神は、イザナギノミコト、コトサカオノミコト、ハヤタマオノミコト、菅原道真公、ヤタガラスです。御神木の根元からは市来随一の名水が湧き出ています。最近では、日本サッカー協会公認のヤタガラスのお守りが有名です。

11 濱田屋伝兵衛 蔵見学可



昔ながらの製法で芋焼酎、「伝」「宇吉」「兼重」などを製造。御食事処では、いちきポンカレー、まぐろ舵取り丼などご当地グルメが食べられます。

12 白石酒造 蔵見学可



明治27年開業。焼酎蔵として手作りこだわりの麹付けは古式の石室で行い、仕込みも古式の甕を使って貯蔵しています。生産量550石の人気蔵です。

漆町まち歩きマップ!!



市来の地酒の歴史は古く、享保4年(1719年)“漆町の酒屋”という家号で初代若松弥右衛門が醸造したのが始まりです。この元は米焼酎ですが、明治33年頃、伊作で市販用芋焼酎の製造が始まり、女子評を得て県内各地で芋焼酎の製造が相次ぐようになりました。市来では、明治42年頃、松崎吉次郎が初めて芋焼酎の製造に成功し、現在、6社8蔵の焼酎蔵があります。

祇園祭(八坂神社の例祭)

市来祇園祭りは、1812年(文化9)八坂神社の建立と共に始まりました。唯子(地)は京都の祇園祭りに似せて行い、京都まで習いに行きました。祇園山(山車)は、男山3台、女山3台、それに漢林三味線があり、山車もあつたようですが、現在は売却されて、男山2台、女山2台の祇園山が繰り出されます。祇園山の大きさは、県内随一で、全山車二階造り、組み立て式です。



毎年8月上旬に行われます☆



..... 薩摩街道(出水筋)
道の両脇には商店が連なってにぎわっていた。殿様武者行列が行われていた。

ここは

鹿兒島県いちばり野市